

すぐに取り組める 家庭学習のすすめ ヒント集



家庭学習の大切さが改めて注目されています。
発達段階に応じた**家庭での支援のあり方**や**家庭学習を習慣化するための3つのポイント**、**ヒント集**をリーフレットにしました。
お子さんの様子を見ながら家庭学習をすすめてみませんか？

低学年(1・2年生)

基本的な学習習慣づくりを
サポートしましょう



家庭での支援のあり方

(1) はじめに

学ぶ意欲を高め、望ましい学習習慣を身に付けさせる上で、保護者の温かいサポートは欠かせません。この時期の子どもにとって、自ら進んで家庭学習に取り組むことはまだまだ難しく、ましてやそばにだれもいない中、一人で勉強するのはつらくてつまらないものかもしれません。

低学年の間は、子どもの学習の**様子を把握し**、家庭学習の際には**できるだけ一緒に**取り組むようにしてください。

(2) やる気を引き出す保護者のサポート

- ・子どものがんばりを**認め**、できたことを**ほめ**ましょう。
- ・子どもの考えやさまざまな疑問に真剣に**向き合**いましょう。あいまいなことは、子どもと一緒に調べましょう。

(3) 望ましい学習習慣を身に付けるために

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 学習する時間帯を決める。 | ② 学習する場の整理整頓をする。 |
| ③ 今日やるべき課題を確認する。 | ④ 学習時は、テレビなどを消す。 |



「家庭学習」を習慣付けるための3つのポイント



千葉県PRマスコットキャラクター

チーパくん

ポイント1 時間を大切にする意識を育てましょう

○ 時間を大切にすることで、計画性が養われます。

「今日、家に帰ったら、まず国語と算数の宿題をやろう。終わったら、〇〇くんと遊んで...。」



やりたい“こと”・やるべき“こと”・やらなければならない“こと”等がたくさんあって、子どもは子どもなりに毎日「いそがしい」のです。

でも、自分の時間をどう使ったらよいのかわからず、やりたい“こと”が優先され、やるべき“こと”等が後回しになったり、時間を無駄に過ごしたりしてしまいがちです。

子どもが小学生のうち、時間の使い方を本人まかせにせず、自主性を尊重しつつも、親がある程度管理してやる必要があります。

ポイント2 認めて・ほめて・励まして、やる気を育てましょう

○ 子どもとのコミュニケーションの中に、やる気を引き出すチャンスがたくさんあります。

「おかあさん教えて」、「おとうさんと一緒に考えよう」など、親子でともに学ぶ経験は、子どもたちの励みになります。学習に対する意欲は、「できた!」「わかった!」という子どもの達成感と、「すごいね」「よくできたね」というほめ言葉や認め言葉によって高まります。

しかられてやる気になることは少ないと思います。やはり、子どもの気持ちに寄りそって、「認めて・ほめて・励まして」やることがやる気を育てることにつながります。



ポイント3 読書や体験をととして、子どもの学びを深めましょう

○ 「読書好き」は「学び上手」につながります。

学力を高める上で、即効性がないかのように見える「読書」。しかし、「読書」によって「考える」習慣を身に付けておかないと、土台のないところに家を建てるのと同じで、学力は向上しません。



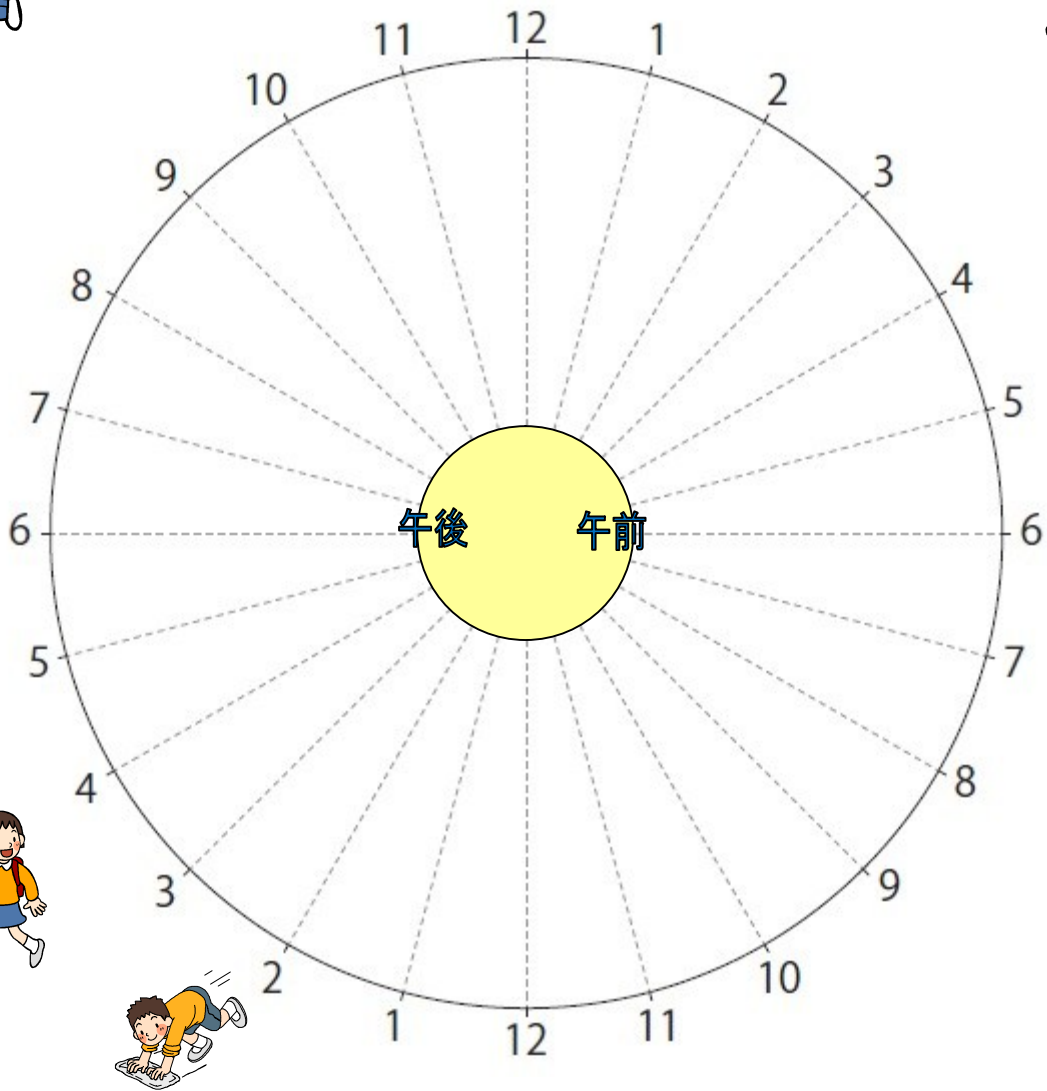
○ 体験は心をたがやし、豊かな感性を育みます。

体験は人を磨きます。体験することで得られる感動、喜びは子どもたちを「次なる興味」へと導いていきます。感性が鋭いこの時期にこそ、「見て・ふれて・確かめる」体験を積むことは、とても大切なことです。

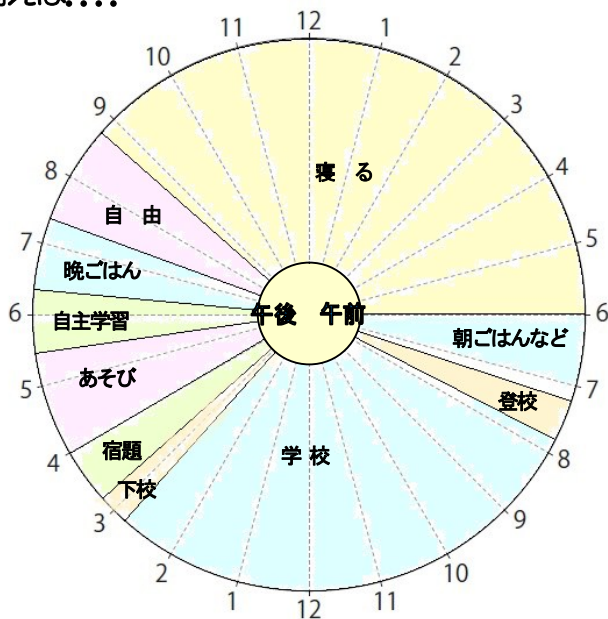




1日の計画を立ててみよう



例えば...



土曜日・日曜日などの休日の分も作ってみましょう。

おうちの方といっしょに考えて、1週間の計画もできるといいですね。



家庭学習を習慣化させるためのヒント集

家庭学習の習慣化には、時間がかかります。

保護者からすると、「昨日はしっかりできたのに今日はやる気を感じられない...。」とか「何度も注意しているのに鉛筆すら持たない...。」など、お子さんの行動にイライラしてしまうこともあるのではないのでしょうか。

では、どうすれば望ましい学習習慣が身に付けられるのでしょうか。

ここでは、家庭学習の習慣化を図るヒントを掲載しています。

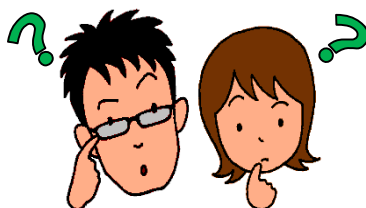


お子さんの様子をみて、思い当たるところはありませんか？

帰ってきたら、ランドセルを投げ出して、おもちゃやゲームに夢中ではありませんか？

ノート（連絡帳）の文字などは、きちんと書いていますか？

宿題や明日の準備をきちんとしていますか？



点数のよくないテストが部屋の片隅にありますか？

ヒント1 学校から帰ってくると、すぐにゲームを始めてしまう イサム くん

頭ごなしに禁止するのは逆効果です。「ゲームも種類によっては有益なものもある」とゆったりと構えて。遊び事を制約するには、あらかじめの約束がものを言います。

明日の準備を含めて、家庭での学習時間や毎日のお手伝いなどお子さんとしっかり話し合っ**て約束事**を決めましょう。約束が守れるようになれば、自分で時間の管理もできるようになります。



ヒント2 明日の準備がなかなか進まない ノリコ さん



準備が遅いのは、まだ、1人では用意できないのかもしれません。親の期待に応えようとがんばっているのです。「もう〇年生なんだから自分でしなさい」といきなりまかせず、**段階を踏む**ことが必要です。

明日の準備をする時に、お家の方が連絡帳に**目を通す**ことを続けていけば、お子さんの書く文字が雑になることも防ぐことができます。

ヒント3 テストなんかいいよといって、見せない ヒロマサ くん



テストを見せないのは自信のなさや、点数が悪くてしかられるかもしれないという気持ちの表れです。

まちがえたくてまちがえるお子さんは1人もいません。お子さんのテストの答案用紙をよく見てやってください。もしも、点数が不十分でがっかりしているようなら、「はじめから間違えない子なんていないのよ。ここまでできているじゃない。」と、できたところをほめることから始めましょう。

「**ほめ上手はしつけ上手**」です。テストのまちがいもほめながら直すのが最善の手だてです。

ヒント4 何を勉強して良いのかわからない マリコ さん



「家庭学習」と言われても、何をすれば良いのかわからないのが親と子の本音。**ゲーム感覚で取り組む反復練習**が有効です。反復練習は、時と場所を選ばずにできます。

また、県教育委員会のHP「**家庭学習のすすめ**」**サイト**もぜひ、利用してみてください。お子さんといっしょに取り組める各教科の家庭学習の**素材が満載**です。

九九が覚えられない、計算ミスをする、本を読まない、作文が苦手などなど... 悩みはたくさんあるかもしれません。

でもとりあえず、お子さんが帰宅したら、短い時間でもいいので、お子さんがいつでも視界にはいるところで、声をかけながら家庭学習の習慣づくりをすることをおすすめします。



くわしくは、千葉県教育委員会ホームページの以下のサイトへアクセスしてください。

「家庭学習のすすめ」サイト

☞ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2011/kateigakus.html>

また、子育て支援サイト「**親力アップいきいき子育て広場**」も参考にしてください。

☞ http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi_pc/

当リーフレットに関するお問い合わせ 指導課学力向上室(043-223-4056)